



地域おこし協力隊通信 vol. 6

園農林水産課農業振興係

Tel 0855 (52) 7493



江津市苔プロジェクト
推進コーディネーター
小野山 優

自然のコケを楽しむ

多くのコケは湿度の高い場所を好むため、市内の至る所でコケを見つけることができます。同じコケといっても、樹木や岩の上で生きる種もあれば、コンクリートの上を好む種もあります。

コケ観察を楽しむなら、観音滝や千丈溪などの自然公園がおすすめ。遊歩道が整備されて歩きやすく、多くの種類のコケが観察できます。菰沢公園の広場の中にもハイゴケとスギゴケ、スナゴケが一面に広がっています。芝生の草刈りでコケが一緒に粉碎されることで種が散らばり、毎年少しずつ群落を広がっている様子が見ることがができます。

コケブームの裏側で

観賞用としてコケが人気になると同時に、山からコケを剥ぎ取る乱獲が問題になっています。

コケは数日で勢いよく伸びる雑草と違い、一〜二年、なかには五年以上かけてようやく群落ができる種もあります。最悪の場合、剥ぎ取った場所からは二度とコケが生えてこないこともあります。

植物の採取が禁止されている自然公園はもちろん、採取の許可を得ている場所でも、自然を破壊するような行為は控えましょう。

匂いのあるコケ

コケの楽しみ方の一つとして、香りを楽しむ方法があります。

ジャゴケというコケが特に匂いがわかりやすく、香りを楽しめます。江津にも多くみられるオオジャゴケは、指でこすると爽やかなハーブの香りがします。マツタケジャゴケと呼ばれる、名前の通りマツタケの匂いがする苔もあるようです。他にも面白い香りのコケがあるかもしれません。



①



②



③

①市内で最も栽培されているハイゴケ(這苔)は、横へ横へと這うように広がります。②コンクリート上でよく見られるギンゴケは、水に濡れると銀色に輝きます。乾燥した状態と雨の日では雰囲気が大きく変わります。③上から眺めると緑色の花のようにも見えるツルチョウチンゴケ。波打つ葉が印象的です。コケは近づいて観察しないと、どれも似たような緑の固まりにしか見えないぐらい小さな植物です。ルーペと図鑑を片手に持って、散策をぜひ楽しんでみてください。